



「 実習を行うこと ～ 今後の育成に向けて ～ 」

進路指導主任 松井 栄人

2・3年生は昨年に引き続き現場実習に、1年生は2週間の校内実習を行いました。各実習は、作業学習を始めとした学校での活動（教科学習、学校行事）が、卒業後の自立と社会参加に効果的につながるようにするための取組です。

実習前には実習激励会を行い、実習の大切さを学び、実習に対しての理解を深めるとともに意識を高められるようにしています。進路専任からは「積極性（主体性）」「コミュニケーション」「対人関係」が大切なことと伝えました。

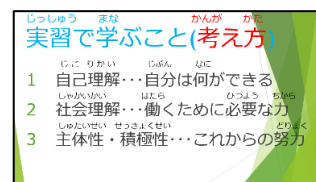
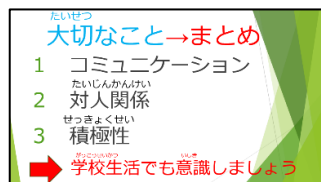
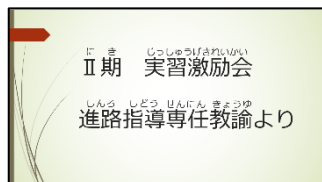
学校では以下の実習の目標①～③を意識して日ごろから生徒の指導及び支援にあたっています。保護者の方も参考にいただけたら幸いです。

①自らを高める気持ちをもつとともに、職業に対する適性を知り自分に適した仕事や職業を考える。

②生徒の仕事に対する能力を知り、保護者と情報共有（共通理解）を行い、進路を考える。

③生徒の課題、適性を知り、現場実習に向けての課題や将来の方向性を検討する機会とする。

目標を意識して実習することで、今後の課題が明確になります。生徒自身にとっては、自立と社会生活に向けて大切なことの理解が期待できます（自らの力はどうなのか、自らに何が必要か、世の中の動きはどのようなものか 等々）。充実した社会生活のために「共生社会の形成」を意識することが大切です。挨拶によるコミュニケーション能力の向上で敬意や感謝の気持ちを伝え、協力し合うことを意識した適切な対人関係が築けます。保護者の方も日常生活で、お子様に対して挨拶や身だしなみの手本を示し、重要性を伝えましょう。今後も学校では生徒の皆さんがチャレンジ感をもって学校生活を送れるように支援してまいります。



「 日光移動教室 」

1 学年校外学習担当 高橋 智和

9月24日（水）～26日（金）の日程で、日光方面へ2泊3日の移動教室に行ってきました。

初日のメインの活動は各クラスでのカレーライス作りでした。火起こしから始まり、飯ごうでの米炊き、クラス全員で協力して具材を切りました。炊飯ではおこげも覚悟しておりましたが、どのクラスもとても上手にできており、お腹いっぱい初日を終えることができました。

2日目の活動は、葛特ならではの「ウォーミングアップ体操」から始まりました。しっかり目覚めた後は、隣接する日光植物園にて、オリエンテーリングをしていろいろな体験をしてきました。午後は日光東照宮と華厳の滝の見学でした。日光東照宮では、班に分かれて徳川家康の墓や鳴き龍など歴史に触れました。華厳の滝では、クラスごとに迫力のある滝を見学して自然の雄大さを感じることができました。夜はキャンプファイヤーを楽しみました。火を囲んでフォークダンスのタタロチカやマイムマイムを踊ったり、「誰かが星を見ていた」を歌ったり、夜空に輝く星を探したりと東京では味わうことの難しい夜を過ごしました。

3日目は東武ワールドスクエアで世界中の有名な建造物を見学することができました。また、家族のことを考えながらお土産を選んだり、特産であるミルクを使ったソフトクリームを食べたりしました。

今回の移動教室では、決まりを守り、仲間同士で協力し合い、楽しく充実した宿泊をすることができました。2泊3日、皆で寝食を共にすることで、今まで以上にお互いのことを理解したり、新たな発見をしたりして、より絆を深めることができました。保護者の皆様におかれましては、事前の準備や、最終日のお迎え等、御協力いただきありがとうございました。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りの配布時期と学校サイト掲載日は前後する場合があります。